

令和元年度 北海道老人クラブ連合会事業報告

事業報告にあたって

昨年5月に年号が平成から令和へと変わり、老人クラブ活動も新たな展開が大いに期待されたところであったが、昨年末に中国・武漢市で確認された新型コロナウイルス感染症の影響を道内外でも大きく受け、本連合会においても2月、3月に予定していた多くの事業を延期したり中止したりすることを余儀なくされた。現在においても感染症の収束の見通しが立っていないことから、本年度事業も執行を見合わせなければならないものが多々生じている状況に置かれているところである。

しかし、こうした状況であればこそ、「健康」、「友愛」、「奉仕」の3大運動を基調とする老人クラブ活動に寄せられる期待は大きくなることはあっても、小さくなることは決してない。今後とも国や道の対応方針や自粛要請等を踏まえ、三密（①換気の悪い密閉空間、②人が多数集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面、の3つの条件が揃う場所）を回避する方策や、せっけんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の他、咳エチケットなどの感染予防を徹底して行ったうえで、日々ご自身やご家族の健康チェックに努めながら、老人クラブ活動を展開したり、事業の実施時期を「後ろ倒し」にするなどの方策を講じて活動を展開していくことが求められるところである。

本連合会においても、7月までの向こう3か月を目途に「令和2年度実施計画」で予定していた各般の事業執行を見合わせるとともに、この機会に本事業報告をもとに、これまでの会員増強運動や各種事業の取り組みを評価・分析し、課題解決に向けて新たな一歩を踏み出すための方策を調査研究し、その結果を今後の老人クラブ活動や本連合会の事業運営に反映させていく必要があると考える。

1. 最重点推進事項

(1) 北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」の強化推進

つなげよう！未来へ、みんなの力で！！～増やそう、目指そう！3%増で「3万人会員増強」～をスローガンに、平成27年4月から「北海道老人クラブ『3万人会員増強運動』要綱」に基づき推進してきた会員増強運動は、本年に3月に終了した。

当年度は「これ以上クラブ数、クラブ会員数を減らさないこと」を目標にクラブ会員、関係者が総力を結集して年次目標（11,300人増強）の達成に向け運動を展開した。しかし、今後の集計結果を待つまでもなく残念な結果となっている。

こうしたこともあり、本年度において、昨年実施した「会員増強運動アンケート」結果に基づき、組織運営に関する特別委員会（委員長 佐々木道老連副会長）においてこれまでの会員増強運動の評価・分析及び総括を行うとともに、会員増強運動の好事例を発掘しその横展開を図ることにしている。

(2) 道老連退会・休会市町村老連への復帰要請活動の推進

全道178市町村老連(札幌市老連は別に法人格を有している。)のうち、市町村老連個々の様々な事情から本連合会に加入していない老連が10市町村老連、休会老連が2町老連あることから、北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」の独自目標として道老連への復帰要請活動を掲げ、本連合会会長が当該町老連へ出向き復帰要請をしたり、会長名の復帰要請文を発出するなどして働きかけをしてきたが、当年度において復帰していただけるまでに至ったところはなかった。

[復帰要請をした市町村老連]

- ・会長が復帰要請文を持参し復帰要請した町老連 中富良野町老連、上富良野町老連
- ・会長名の復帰要請文を送付し復帰要請した市町村老連 旭川市老連ほか8町村老連
- ・復帰要請を見送った町老連 長万部町老連

(3) 若手委員会・女性委員会の組織強化

老人クラブの組織強化に向け、若手会員や女性会員の意見を本連合会の運営に反映させるため、機会あるごとに市町村老連会長に本連合会若手委員及び女性委員の推薦をお願いしてきたところであるが、推薦者数が減少している状況にあり引き続き課題となっている。

当年度において、女性委員会、若手委員会が中心になり「第1回全道キタシルバ杯カラオケ大会」を企画し、準備を進め、これにより若手委員会・女性委員会の活性化を図ることにしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防及び拡大防止の観点から、開催を無期限延期としている。今後、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めながら、開催に向け諸準備を進める中で女性委員会、若手委員会の結束力を高め、組織強化に努めることにしたい。

2. 重点推進事項

(1) 健康づくり・介護予防活動の推進

行政や関係機関・団体等の推薦を得た専門的知識を有する委員で構成をする『健康をすすめる運動委員会』(委員長 板谷道老連副会長・若手委員会委員長)を開催し、委員会の意見に基づき、高齢者自らの健康保持・増進を進めるため地域の関係者と連携して、健康づくりリーダー及び体力測定員の養成に取り組んできた。(詳細は、4の(3)北海道老人クラブ連合会が行う健康づくり支援事業のとおり)

(2) 高齢消費者被害防止見守りサポーター養成事業の実施

オレオレ詐欺や還付金・架空請求詐欺などの特殊詐欺や迷惑セールスなどの被害に多くの高齢者が遭っている現状を踏まえ、そうした被害に高齢者が遭わないように平成28年度に北見市老連、江別市高連及び千歳市老連をモデル市町村老

連に指定し「高齢消費者見守りサポーター」の養成を行い、この事業の成果を広く市町村老連に普及・啓発するよう努めるとともに、北海道消費者被害防止ネットワーク会議構成団体が作成したリーフレットやチラシを配付するなどして被害防止に努めた。

また、全国老人クラブ連合会が作成・配付している高齢消費者被害防止用資材を活用して被害防止の普及・啓発に努めた。

(3) 認知症高齢者の見守りなどの支援

高齢者の4人に1人が認知症又はその予備群（軽度認知症）とも言われ、さらに増加していくことが見込まれる中で、そうした認知症高齢者等の方々が地域で安心して暮らせるよう見守りや話し相手・相談相手などの友愛活動を積極的に展開してきた。

平成30年度本連合会老人クラブ基本調査の結果によると、老人クラブ会員の「オレンジリング」取得者は28市町村老連で1,300人以上となっており、2年前に比べ大幅に増加しているとはいえ、「取得者がいる」と回答のあった市町村老連は16.4%にとどまっていることから、さらに取得者の増化を促進することが課題である。

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業への積極的な参画

平成29年4月からすべての市町村で介護保険の予防給付のうち、要支援1、2の方の予防訪問介護と予防通所介護が介護予防・日常生活支援総合事業（新地域支援事業）に移行し、またすべての市町村において高齢者を支え合う体制を整備するため生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置や保健医療・福祉、介護関係者、地域住民などによる協議体（第1層協議体、第2層協議体）の設置がされているところである。

こうした市町村の取り組みに積極的に参画していくため、道の助成を受け実施している「高齢者相互支援推進・啓発事業」を活用し、平成31年3月にモデル老連活動事例集（網走市老連・池田町老連・江別市高連）を作成、配付するなどして普及・啓発に努めた。

3. 会務の状況

(1) 正・副会長会議の開催

1) 第1回 正・副会長会議

期 日 令和元年5月16日(金)

会 場 かでる2.7 9階 930研修室

議 題

- ① 第13回理事会に提案する議案について
ア 平成30年度事業報告（案）について

- イ 平成30年度収支決算書（案）について
- ウ 平成30年度公益目的支出計画実施報告書（案）について
- エ 平成30年度監査報告について
- オ 事務局長任用の承認について
- カ 理事・監事候補者の推薦について
- キ 評議員の補充選任候補者について
- ク その他

② 第7回評議員会に提案する議案について

- ア 平成30年度収支決算書（案）について
- イ 平成30年度監査報告について
- ウ 理事・監事の選任について
- エ 評議員の補充選任について

③ 令和元年度第1回臨時理事会に提案する議案について

- ア 会長、副会長及び常務理事の選定について
- イ 組織運営に関する特別委員会委員選任の同意について
- ウ 財産管理運用特別委員会委員選任の同意について
- エ 「健康をすすめる運動委員会」委員長候補者の選定について

2) 第2回 正・副会長会議

期 日 令和元年7月1日(金)

会 場 かでの2.7 9階 930研修室

議 題

【審査事項】

- ① 令和元年度老人クラブ功労者の表彰について
- ② 北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」特別賞の表彰について
- ③ 令和元年度 全老連会長表彰の推薦について
- ④ 令和元年度 活動賞の推薦について
- ⑤ 全国老人クラブ「100万人会員増強運動特別賞」の推薦について
- ⑥ 全国老人クラブ「100万人会員増強運動優良クラブ賞」の推薦について

【協議事項】

- ① 北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」の強化推進について
- ② 今後における正・副会長の役割分担について

3) 第3回 正・副会長会議

期 日 令和元年9月9日(水)

会 場 かでの2.7 9階 930研修室

議 題

- ① 業務貢献表彰について（審査事項）
- ② 第57回全道老人クラブ大会の開催地について
- ③ 令和元年度第2回全道市町村老連会長・事務局長会議の開催について

4) 第4回 正・副会長会議

期 日 令和元年10月7日(水)

会 場 かでる 2.7 9階 910会議室

議 題

- ① 道老連分担金算出基準規程の見直しについて
- ② 第1回全道キタシルバ杯カラオケ大会開催要綱について
- ③ 退会・休会市町村老連への復帰要請について
- ④ 令和元年度上川地区市町村老連地域連携強化セミナーの協議題等について

5) 第5回 正・副会長会議

期 日 令和元年11月18日(月)

会 場 かでる 2.7 9階 910会議室

議 題

- ① 令和2年度道老連事業計画骨子（案）について
- ② 上川地区退会・休会市町村老連への復帰要請について
- ③ 道老連分担金算出基準規程の見直しの方向性について

6) 第6回 正・副会長会議

期 日 令和2年2月10日(月)

会 場 かでる 2.7 9階 930研修室

議 題

- ① 令和元年度道老連収支補正予算書（素案）について
- ② 道老連分担金算出基準規程の一部改正について
- ③ 令和2年度道老連事業計画（素案）について
- ④ 令和2年度道老連収支予算書（素案）について
- ⑤ 令和2年度福祉基金預金（特定資産）の一部取り崩しについて
- ⑥ 赤平市老連からの「質問・意見書」に対する回答について

※第7回正・副会長会議は、新型コロナウイルス感染症予防のため、書面会議とした。提案予定議題は、第14回道老連理事会に提案する議案書、及び令和元年度臨時評議員会に提案する議案書であった。

(2) 理事会・評議員会の開催

1) 第13回 理事会

期 日 令和元年5月29日(水)

会 場 かでる2.7 5階 550会議室

議 題

- ① 報告事項
 - ア 業務報告
 - イ 職務の執行状況の報告について
- ② 平成30年度道老連事業報告(案)について
- ③ 平成30年度道老連収支決算書(案)について
- ④ 平成30年度公益目的支出計画実施報告書(案)について
- ⑤ 平成30年度監査報告について
- ⑥ 事務局長任用の承認について
- ⑦ 理事・監事候補者の推薦について
- ⑧ 補充理事候補者の推薦について
- ⑨ 評議員の補充選任候補者について
- ⑩ その他(全道キタシルバ杯カラオケ大会の開催について)

2) 第7回 評議員会

期 日 令和元年6月14日(金)

会 場 かでる2.7 10階 1060会議室

議 題

- ① 報告事項
 - ア 平成30年度道老連事業報告について
 - イ 平成30年度道老連公益目的支出計画実施報告書について
 - ウ その他(全道キタシルバ杯カラオケ大会の開催について)
- ② 平成30年度道老連収支決算書(案)について
- ③ 平成30年度監査報告について
- ④ 理事・監事の選任について
- ⑤ 評議員の補充選任について

3) 令和元年度 臨時理事会

期 日 令和元年6月14日(金)

会 場 かでる2.7 10階 1020会議室

議 題

- ① 会長・副会長及び常務理事の選定について
- ② 組織運営に関する特別委員会委員選任の同意について
- ③ 財産管理運用特別委員会委員選任の同意について
- ④ 「健康をすすめる運動委員会」委員長候補者の選定について

4) 第14回 理事会(書面会議)

期 日 令和2年3月19日（木）（理事会の決議・承認のあった日）
議 題

- ① 報告事項
 - ア 業務報告について
 - イ 職務の執行状況について
 - ウ 組織運営に関する特別委員会の開催結果について
 - エ 財産管理運用特別委員会の開催結果について
- ② 第14回道老連理事会の開催方法の変更について
- ③ 令和元年度道老連臨時評議員の開催方法の変更について
- ④ 令和元年度道老連収支補正予算書（案）について
- ⑤ 本連合会分担金算出基準規程の一部改正について
- ⑥ 令和2年度道老連事業計画（案）について
- ⑦ 令和2年度道老連収支予算書（案）について
- ⑧ 特定資産（福祉基金預金）の一部取り崩しについて
- ⑨ 令和2年度臨時評議員会の開催について
- ⑩ その他

5) 令和元年度臨時評議員会（書面会議）

期 日 令和2年3月25日（水）（評議員会の決議・承認のあった日）
議 題

- ① 報告事項
 - ア 令和元年度臨時評議員会の開催方法の変更について
 - イ 業務報告について
 - ウ 組織運営に関する特別委員会の開催結果について
 - エ 財産管理運用特別委員会の開催結果について
- ② 令和元年度道老連収支補正予算書（案）について
- ③ 本連合会分担金算出基準規程の一部改正について
- ④ 令和2年度道老連事業計画（案）について
- ⑤ 令和2年度道老連収支予算書（案）について
- ⑥ 特定資産（福祉基金預金）の一部取り崩しについて

(3) 監事監査等の実施

1) 第1回業務等監査

期 日 令和元年5月9日（木）
会 場 かでる2.7 9階 930研修室
内 容

- ① 平成30年度事業報告並びに平成30年度収支決算について
- ② 平成30年度公益目的支出計画実施報告書について

2) 第2回業務等監査

期 日 令和元年11月1日(金)
会 場 かでる2.7 9階 930研修室
内 容

- 令和元年度上半期各会計の財務に関する事務の執行状況について

3) 正・副会長懇談会

期 日 令和元年5月30日(木)
会 場 かでる2.7 9階 930研修室
内 容

- 道老連の当面する課題に対する対応について

(4) 組織運営に関する特別委員会の開催

【第1回委員会】

期 日 令和元年9月26日(木)
会 場 かでる2.7 9階 930研修室
議 題

- ① 本連合会分担金算出基準規程の見直しに当たっての意見聴取(美唄市老連・新十津川町老連)について
- ② 分担金算出基準規程の見直しに当たっての平取町老連からの意見について

【第2回委員会】

期 日 令和元年12月16日(月)
会 場 かでる2.7 9階 930研修室
議 題

- ① 道老連の事業運営及び分担金算出基準規程の見直しについて
- ② 令和2年度道老連事業計画骨子(案)について
- ③ 令和2年度組織運営に関する特別委員会の日程について

(5) 財産管理運用特別委員会の開催

期 日 令和元年12月10日(火)
会 場 かでる2.7 5階 550会議室
議 題

- ① 道老連分担金算出基準規程の見直しについて
- ② 令和2年度道老連事業計画骨子(案)について
- ③ 令和2年度特定資産の一部取り崩しについて

(6) 女性委員会総会の開催

期 日 令和元年5月13日(月)
会 場 かでる2.7 10階 1060会議室

議 題

- ① 女性委員会常任委員の選任について
○委員長・副委員長・評議員候補者（2名）の選出について
- ② 全道老人クラブカラオケ大会の開催について
- ③ 令和元年度各種講習会について
- ④ 全老連創立60周年記念会員章の普及・還元について

（7）若手委員会総会の開催

期 日 令和元年5月15日（水）

会 場 かでる 2.7 5階 520研修室

議 題

- ① 若手委員会常任委員の選任について
○委員長・副委員長・評議員候補者（2名）の選出について
- ② 全道老人クラブカラオケ大会の開催について
- ③ 令和元年度各種講習会について
- ④ 全老連創立60周年記念会員章の普及・還元について

4. 会議・研修会等の開催

（1）第1回全道市町村老連会長・事務局長会議の開催

期 日 令和元年5月21日（火）・22日（水）

会 場 定山溪ビューホテル

出席者数 131 人

内 容

- ① 事業説明と質疑応答
ア 令和元年度北海道老人クラブ連合会事業計画について
イ 令和元年度北海道老人クラブ連合会収支予算について
- ② 講話「北海道保健福祉計画と地域社会におけるこれからの老人クラブの役割」
北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課 主幹 菊谷 克己
- ③ 8ブロック選出会議（理事・監事候補者・評議員補充選任候補者の選出）

（2）第2回全道市町村老連会長・事務局長会議の開催

期 日 令和元年11月12日（火）

会 場 かでる 2.7 4階大会議室

出席者数 80 人

内 容

- ① 基調説明「会員増強運動の強化推進、分担金及び事業運営の見直しについて」
道老連常務理事・事務局長 坂井 信

② 分散会（意見交換）

- ア 会員増強運動の評価・分析及び強化推進について
- イ 分担金及び事業運営の見直しについて
- ウ 市町村老連等から提出のあった協議題について

③ 全体会

- ア 分散会報告
- イ 道老連からのコメント

(3) 北海道老人クラブ連合会が行う健康づくり支援事業

1) 「健康をすすめる運動」委員会の開催

【委員名】

委員長	一般財団法人北海道老人クラブ連合会	副会長	板谷 信男
委員	北海道保健福祉部高齢者支援局	高齢者保健福祉課長	松本 賢司
	北海道教育庁生涯学習推進局	生涯学習推進課長	村上 由佳
	一般社団法人北海道医師会	事業第三課課長	小林 淳子
	一般社団法人北海道歯科医師会	事業課長	沖本 正哉
	一般社団法人北海道薬剤師会	事業課課長補佐	畑山 憲一
	公益社団法人北海道看護協会	事務局長	長尾 教雄
	公益社団法人北海道栄養士会	理事	星川ミチ子
	社会福祉法人北海道社会福祉協議会	市民活動担当課長	坂本 豊
	公益財団法人北海道健康づくり財団	常務理事	細口 貴雄

第1回委員会

期 日 令和元年7月23日（月）
会 場 ホテル札幌ガーデンパレス 5階「すずらん」
内 容

- ① 委員紹介
- ② 令和元年度事業計画「道老連が行う健康づくり支援事業」について
ア 各講習会、研修会の講義・実技内容
イ 各講習会、研修会の開催地
- ③ 全道健康いきいきセミナーについて

第2回委員会 新型コロナウイルス感染症の罹患防止及び市中感染拡大防止の観点から開催を中止し、各委員には会議資料を送付した。

2) 「全道健康いきいきセミナー」の開催

期 日 令和元年10月24日(木)

会 場 北斗市農業振興センター

参加者 100人

内 容

実践講座 「健康づくりは日常生活動作のちょっとした工夫から」

札幌国際大学スポーツ人間学部 教授 国田 賢治

講義 「フレイル予防」について

北斗市地域包括支援センターかけはし 主事 佐藤 淳哉

実技 「高齢者向け体力測定」

「ニュースポーツ体験」 協力 ミズノ株式会社

「健康コーナー」 血管年齢・肥満度の測定、基礎代謝量・筋肉量の測定、
骨密度測定、脳年齢測定 他

3) 「健康づくり講習会」の開催

① 「健康づくりリーダー養成講習会」

【中標津町会場】

期 日 令和元年7月9日(火)

会 場 中標津町総合文化会館 コミュニティホール

参加者 70人

修了証書取得者 70人

内 容

講義1 「健やかな人生と歯・口の健康」

釧路歯科医師会 理事 藤本 正幸

講義2 「認知症予防のために」

KKR 札幌医療センター 認知症看護認定看護師 岩浅 庄一

【浦臼町会場】

期 日 令和元年9月19日(木)

会 場 浦臼町農村センター

参加者 45人

修了証書取得者 41人

内 容

講義1 「健やかな人生と歯・口の健康」

空知歯科医師会 会員 山中 隆裕

講義2 「認知症予防のために」

野幌病院 老人看護専門看護師 緑川 弥生

【湧別町会場】

期 日 令和元年11月14日(木)

会 場 湧別文化センター TOM

参加者 53人

修了証書取得者 53人

内 容

講義1 「健やかな人生と歯・口の健康」

北見歯科医師会 会員 東海林 浩二

講義2 「認知症予防のために」

定山溪病院 看護師長・老人看護専門看護師 菅原 昌子

②「健康づくり体力測定員養成講習会」の開催

【中標津町会場】

期 日 令和元年7月10日(水)

会 場 中標津町総合文化会館 コミュニティホール

参加者 50人

体力測定員証取得者 39人

内 容 ※実技1. 実技2は3会場共通

実技1 「いきいきクラブ体操・体力測定」

実技2 「体力測定」

北海道老人クラブ連合会 主査 小野寺 洋 ほか

【浦臼町会場】

期 日 令和元年9月20日(金)

会 場 浦臼町農村センター

参加者 36人

体力測定員証取得者 30人

【湧別町会場】

期 日 令和元年11月15日(金)

会 場 湧別文化センター TOM

参加者 48人

体力測定員証取得者 37人

(4) 女性リーダー研修会の開催

【当麻町会場】

期 日 令和元年8月6日(火)

会 場 当麻町公民館「まとまる」

参加者 88人

内 容

講義1 「高齢期の食生活のポイント」

旭川大学短期大学部生活学科 食物栄養専攻

管理栄養士 柴山 祐子

講義2 「ビューティ講座 お化粧のチカラを生かし介護予防」

資生堂ジャパン株式会社

ビューティーインストラクター 四渕 眞希子

事例発表

「当麻町老人クラブ連合会の活動について」

当麻町老人クラブ連合会 副会長 玉田 明子

「恵庭市老人クラブ連合会女性部会の活動について」

北海道老人クラブ連合会 副会長・女性委員長

恵庭市老人クラブ連合会 副会長・女性部長 亀石 和代

【江別市会場】

期 日 令和元年8月30日(金)

会 場 江別市野幌公民館

参加者 106人

内 容

講義1 「高齢期の食生活のポイント」

北海道栄養士会 管理栄養士 藤原 朱美

講義2 「ビューティ講座 お化粧のチカラを生かし介護予防」

資生堂ジャパン株式会社

ビューティーインストラクター 四渕 眞希子

事例発表

「女性部・友愛活動の一体的な取組みについて」

江別市高齢者クラブ連合会 副会長・女性部長 伊藤 祐子

「三笠市老人クラブ連合会と女性部の活動について」

三笠市老人クラブ連合会 副会長・女性部長 細川 アイ子

【稚内市会場】

期 日 令和元年9月13日(金)

会 場 稚内市総合福祉センター

参加者 64人

内 容

講義1 「高齢期の食生活のポイント」

社会医療法人禎心会 老人保健施設ら・ぷら～さ

管理栄養士 長谷 久美

講義2 「ビューティ講座 お化粧のチカラを生かし介護予防」

資生堂ジャパン株式会社

ビューティーインストラクター 四渕 眞希子

事例発表

「稚内市老人クラブ連合会の女性部活動について」
 稚内市老人クラブ連合会 事務局長 橋堀 哲也
 「恵庭市老人クラブ連合会女性部会の活動について」
 北海道老人クラブ連合会 副会長・女性委員長
 恵庭市老人クラブ連合会 副会長・女性部長 亀石 和代

(5) 北海道ブロックリーダー研修会

期 日 令和元年9月5日(木)・6日(金)

会 場 ホテルミリオオーネ

参加者数 224人

内 容

- ① 基調報告「5カ年の会員増強運動と今後の方向」
 全国老人クラブ連合会 事務局長 正立 斉
- ② 活動事例発表
 - ア「創立50周年記念事業を契機とした会員増強等の取り組みについて」
 札幌市厚別区小野幌クラブ 会長 岩井 昭二
 - イ「江別市高齢者クラブ連合会の高齢者ふれあいサロンについて」
 江別市高齢者クラブ連合会 副会長 伊藤 祐子
- ③ いきいきクラブ体操
- ④ 健康講話「いきいきコツコツのすすめ」～今日を生きる、明日を生きる～
 食育&クッキングコンシェルジュ 健康塾代表 堤 秀子
- ⑤ 実践講座「健康づくりは日常生活動作のちょっとした工夫から」
 札幌国際大学スポーツ人間学部学部長 国田 賢治

(6) 全道老人クラブボランティア活動リーダー研修会

新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

(7) 全道若手リーダー研修会

新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

(8) 小ブロック研修会

ブロック名	主管	開催日時	会場	参加人数
南渡島	函館市	9月26日	函館市競輪場 テレシアター	244
北檜山	今金町	8月22日	今金町総合体育館	180
南檜山	厚沢部町	9月18日	町民交流センター	189
石狩	北広島市	10月8日	北広島市芸術文化ホール	144
南後志	岩内町	7月26日	岩内町老人福祉センター	139

ブロック名	主管	開催日時	会場	参加人数
北空知	沼田町	10月8日	沼田町生涯学習センター	38
中空知	滝川市	8月29日	滝川市文化センター	64
南空知	岩見沢市	10月25日	岩見沢市高齢者福祉センター	88
胆振西	登別市	7月24日	登別市民会館	115
胆振東	むかわ町	6月29日	穂別町民センター	163
上川北1	名寄市	10月25日	音威子府村公民館	107
上川北2	士別市	10月10日	レイクサイド桜丘	147
上川中部	東神楽町	8月28日	東神楽町総合福祉会館	237
富良野沿線	南富良野町	10月4日	南富良野町保健福祉センター	151
留萌北	初山別村	10月16日	初山別村自然交流センター	77
留萌南	増毛町	10月30日	増毛町文化センター	80
宗谷北	豊富町	10月10日	豊富町民センター	81
宗谷島	利尻富士町	9月25日	利尻富士町総合交流促進施設	56
宗谷南	浜頓別町	10月25日	浜頓別町福祉センター	50
北見	訓子府町	8月29日	訓子府町公民館	174
紋別	滝上町	7月17日	滝上町文化センター	204
網走	網走市	7月25日	オホーツク・文化交流センター	310
遠軽	湧別町	7月30日	湧別町文化センター	119
十勝北	音更町	8月22日 ～23日	笹井ホテル	119
十勝東北	本別町	10月25日	本別町中央公民館	117
十勝西	芽室町	5月23日	芽室町健康プラザ	114
十勝東	浦幌町	7月5日	浦幌町中央公民館	151
十勝南	大樹町	10月31日	大樹町福祉センター	91
釧路西	鶴居村	8月21日	鶴居村総合センター	127
釧路東	標茶町	7月24日	標茶町コンベンションホール	119
根室	羅臼町	10月17日	ニュー阿寒ホテル	100
31ヵ所 参加人数合計				4,095

(9) 地区リーダー研修会

ブロック名	開催日時	会場	参加人数
石狩	10月23日	当別町役場 総合保健福祉センター「ゆとろ」	85
渡島	11月13～14日	函館市 花びしホテル	105

ブロック名	開催日時	会場	参加人数
檜山	10月29～30日	函館市 花びしホテル	159
後志	10月24～25日	定山溪ビューホテル	70
空知	10月4日	奈井江町文化ホール	62
上川	10月15～16日	ホテル大雪	61
留萌	10月7日	はぼろ温泉サンセットプラザ	55
宗谷	8月27日	中頓別町民センター	123
網走	10月10～11日	ホテル網走湖荘	310
胆振	11月6～7日	洞爺観光ホテル	61
日高	10月17日	新ひだか町公民館	51
十勝	令和2月19～20日	ホテル大平原	360
釧路	10月16～17日	川湯観光ホテル	108
根室	10月16～18日	ニュー阿寒ホテル	101
14カ所 参加人数合計			1,711

5. 講師・助言等派遣

区分	月日	業務名	開催地	派遣者
助言	7月24日	胆振西部老人クラブリーダー研修会	登別市民会館中ホール	坂井局長
助言	8月29日	中空知地区小ブロック研修会	たきかわ文化センター会館	坂井局長
講師	10月8日	石狩小ブロック研修会	北広島市芸術文化ホール	坂井局長 小野寺主査
講師	10月11日	高齢者相互支援普及研修会	歌志内市コミュニティセンター	坂井局長
講師 助言	10月16日	空知地区老連役員研修会	ほろしん温泉「ほたる館」	亀石副会長 板谷副会長

6. 高齢者相互支援推進・啓発事業

老人クラブ会員が共に生きがいをもって健やかな日々を送るために、現在の健康に感謝して、同じ地域に住む同世代の会員や会員外の方々に対しても、日ごろから隣人として仲間としての声かけ運動と友愛活動を促進するため、モデル老連を指定し事業を実施した。(事業費 1モデル老連 20万円)

(1) モデル老連並びに指定期間

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1) 帯広市老人クラブ連合会 | 平成30年度～平成31年度 |
| 2) 歌志内市老人クラブ連合会 | 令和元年度～令和2年度 |

(2) 事業連絡会議の開催

- | | | | |
|--------|------------------|-----------|-------|
| 1) 期 日 | 令和2年2月21日(金) | | |
| 2) 会 場 | かでの2.7 5階 550会議室 | | |
| 3) 出席者 | 帯広市老連 | 会 長 | 鈴木 敏市 |
| | 帯広市老連 | 事務局 | 松井 善則 |
| | 歌志内市老連 | 会 長 | 小松 繁美 |
| | 歌志内市老連 | 事務局長 | 佐渡 憲博 |
| | 歌志内市老連 | 係長 | 塚田 和征 |
| | 道老連 | 会 長 | 鈴木 敏市 |
| | | | (再掲) |
| | 道老連 | 常務理事・事務局長 | 坂井 信 |
| | 道老連 | 主 査 | 志賀ふさ美 |

4) 内 容

① モデル老連の活動状況について

帯広市老連～友愛活動研修会、高齢者相互支援推進研修会、料理教室、ウエス贈呈式等

歌志内市老連～友愛活動推進員会議、活性化を目指す担い手育成研修会等

② 高齢者の健康づくり・生活支援セミナー参加報告(帯広市老連)

(3) 令和元年度 高齢者の健康づくり・生活支援セミナーへの参加

- | | | | |
|--------|----------------------|-----|-------|
| 1) 期 日 | 令和元年12月12日(木)～13日(金) | | |
| 2) 会 場 | 全社協「灘尾ホール」 | | |
| 3) 出席者 | 帯広市老連 | 理事 | 上田 杜哉 |
| | 帯広市老連 | 事務局 | 松井 善則 |
| | 江別市高連 | 会長 | 阿部 実 |
| | 江別市高連 | 副会長 | 伊藤 祐子 |

4) セミナー内容

- ① 行政説明 厚生労働省老健局振興課 課長補佐 川島 英紀
- ② 基調説明 全国老人クラブ連合会 事務局長 正立 斉
- ③ 専門講座 「フレイル予防と地域支えあい」

東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長 藤原 佳典

- ④ 健康①医療 「上手な医療の受け方」
日本医師会常任理事 江澤 和彦
- ⑤ 健康②栄養 「高齢期の食生活のあり方」
日本栄養士会専務理事 迫 和子
- ⑥ 健康③運動 「高齢期の運動による健康づくり・介護予防」
順天堂大学名誉教授
日本ウェルディングライフ協会 会長 武井 正子
- ⑦ 健康④歯・口腔 「歯・口腔の健康管理について」
北海道大学大学院歯学研究院歯学教室 准教授 渡邊 裕
- ⑧ 事例発表、グループ学習

7. 子育て支援と青少年健全育成事業

老人クラブは、従来から子どもたちが健全な生活習慣を身につけることを願い、昔の遊びや生活文化等の伝承活動を中心に取り組んできた。次代を担う青少年に貴重な経験と知識が継承され、明るく活力に満ちた地域社会づくりに寄与するため、平成7年度から「青少年健全育成事業」としてモデル老連を指定し取り組みを行ってきたが、平成28年度以降は新規指定を行わず、各地域での事業の促進を図った。

【参考】

過去のモデル老連並びに指定期間

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1) 積丹町・東神楽町 | 平成 7 年度～平成 8 年度 |
| 2) 平取町・女満別町 | 平成 8 年度～平成 9 年度 |
| 3) 鶴川町・幕別町桂寿会 | 平成 10 年度～平成 11 年度 |
| 4) 東神楽町・幕別町札内鉄南長寿会 | 平成 12 年度～平成 13 年度 |
| 5) 蘭越町・富良野市 | 平成 14 年度～平成 15 年度 |
| 6) 留萌市・稚内市 | 平成 16 年度～平成 17 年度 |
| 7) 夕張市・鷹栖町 | 平成 18 年度～平成 19 年度 |
| 8) 石狩市・恵庭市 | 平成 20 年度～平成 21 年度 |
| 9) 赤平市・芦別市 | 平成 22 年度～平成 23 年度 |
| 10) 栗山町・むかわ町 | 平成 24 年度～平成 25 年度 |
| 11) 恵庭市・夕張市 | 平成 26 年度～平成 27 年度 |

8. 高齢者の社会参加の推進

高齢者の社会参加の一層の促進を図るため、全道老人クラブ大会及び高齢者生き生き写真展を開催した。

(1) 第56回全道老人クラブ大会

本大会は、全道の老人クラブ会員及び関係者が一堂に集い、少子高齢社会における

高齢者の役割と老人クラブのあり方を共に考え、明日への活動に生かすことを目指して開催したものであるが、小樽市、小樽市社協をはじめ地元の関係者・団体などの様々なご支援をいただき、約750人もの参加を得て盛況のうちに、老人クラブ会員はもとより広く地域の方々にも高齢者や老人クラブに対する理解を深めていただく機会とすることができた。

期 日 令和元年10月3日(木)

会 場 小樽市民会館 大ホール

参加者 約750人

内 容

① 式 典

ア 老人クラブ功労に対する表彰

イ 会員増強特別表彰

ウ 業務貢献賞(感謝状)の贈呈

エ 祝辞(北海道知事・小樽市長)

② 記念講演 「老人クラブの仲間づくりで“健康長寿”を実現」

講 師 一般財団法人医療経済研究

社会保険福祉協会医療経済研究機構

研究部主任研究員兼研究部次長 服部 真治

③ 大会宣言

④ 次期開催地挨拶

⑤ 第45回北海道高齢者生き生き写真展

⑥ 演芸交流会

(2) 第45回北海道高齢者生き生き写真展

北海道新聞社と共催し、高齢者が生き生きと生きる姿をレンズを通して表現していただくための写真展を開催し、市民に高齢者に対する理解を深めていただくとともに、高齢者の外出や社会参加の機会、子供や孫等の交流機会を増加させることができた。

1) 北海道庁 1階ロビー

期 日 令和元年9月17日(火)～18日(水) 2日間

2) 小樽市民会館 (第56回全道老人クラブ大会にて展示)

期 日 令和元年10月3日(木) 1日間

3) 内 容

① 応募者数及び点数

一般の部	14人	39点
高齢者の部	27人	66点
計	41人(75人)	105点(173点)

※()内は前年度の数

② 審査会 令和元年8月8日(木) 入賞12点、入選10点

9. 「老人の日・老人週間」の取り組み

「社会奉仕の日(9月20日)」「老人の日(9月15日)、老人週間(9月15日より1週間)」、の取り組みは、全国の老人クラブの創意と主体性を結集した取り組みと連動して行った。

(1) 全道一斉「社会奉仕の日」活動実施

住んでいる街の郷土愛と「敬老の日」感謝の意を込めて、「きれいな地球を子どもたちへ」をテーマに掲げ、活動の輪を広げながら地域社会の担い手として、奉仕活動を展開した。

期 日	令和元年9月20日(日)		
活動実績	参加市町村	50	(46)
	参加クラブ	656	(675)
	参加人数	33,261	(33,454)

※()内は前年度の数

(2) 「老人の日、老人週間」の取り組み

老人の日(9月15日)と老人週間(9月15日より1週間)に全国の老人クラブの創意と主体性を結集し、「仲間と集い、高齢者の元気な姿を示そう!」をスローガンに、高齢者の意欲と姿勢を明らかにするよう努めた。

10. 老人クラブ活性化のための市町村老連への支援

令和元年度道老連事業計画の3つの最重点推進事項(北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」の強化推進、道老連退会・休会市町村老連への復帰要請活動の推進、若手委員会・女性委員会の組織強化)及び4つの重点推進事項(健康づくり・介護予防活動の推進、高齢消費者見守りサポーター養成事業の実施、認知症高齢者の見守りなどの支援、介護予防・日常生活支援総合事業への積極的な参画)を実効性のあるものとし、老人クラブの活性化を図るため、平成30年度、平成31年度の2か年のモデル事業として「老人クラブ活性化支援・奨励メニュー事業」に取り組んだところであるが、初年度においては計画のとおり20か所の市町村老連で実施していただくことができたが、今年度は9か所に留まる残念な結果となってしまった。

11. 地域連携強化セミナーの開催

上川地区における市老連と地区老連(町村老連)との連携強化の方策を研究・討議するため、2市8町老連の会長・事務局長等及び地区老連会長・事務局長並びに道老連会長・副会長・事務局長等27名が参集し上川地区市町村老連地域連携強化セミナーを開催した。

開催日	令和元年11月5日(火)
場 所	旭川市大雪クリスタルホール 第3会議室
内 容	

① 基調説明1「老人クラブの課題とそれへの対応について」

北海道老人クラブ連合会 常務理事・事務局長 坂井 信

- ② 基調説明 2 「上川地区老連の現状と課題について」
上川地区老人クラブ連合会 事務局長 平川 俊彦
- ③ 全体会
 - ア 道老連に対する意見・要望事項
 - イ 各市町村老連からの提出議題
 - ウ 今後の連携強化方策

1 2. 広報活動

(1) 道老連ホームページの充実・活用

老人クラブ活動や各種広告物等を紹介し、高齢者の理解が得られるよう普及啓発に努めた。

(2) 会報「老人クラブ 道老連会報」の発行

老人クラブ員・市町村老連の活動に役立つよう道老連の実施事業、全道各地の老人クラブの活動状況や地域の情報をはじめ、高齢者に係わる様々な情報などを提供するよう努めた。(年3回発行)

1 3. 発行物

- (1) 道老連要覧(市町村老連住所録)
- (2) 指定商社・指定ホテル総合案内
- (3) 健康づくり支援事業報告書
- (4) 始めよう続けよう体力測定報告書
- (5) 仲間づくりの輪を広げよう
- (6) みんなで取り組むこれからの友愛活動
- (7) 老人クラブに加入しませんか? チラシ
- (8) 北海道老人クラブ「3万人会員増強運動」リーフレット
- (9) 介護予防・日常生活支援総合事業をご存知ですか? リーフレット
- (10) 地域包括ケアシステムがみなさんの生活を支えます リーフレット
- (11) 地域ぐるみで始めよう! 認知症予防大作戦 リーフレット
- (12) 「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」が介護予防・日常生活支援総合事業に移りました! リーフレット
- (13) お化粧のチカラを生かし介護予防 リーフレット
- (14) 健康長寿のための健康づくりのポイント リーフレット
- (15) 高齢者相互支援推進・啓発事業モデル老連活動事例集

1 4. 各種団体への協力、協賛(道内関係)

- (1) 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議委員
 - 1) 児童等の安全確保に関する専門部会委員
 - 2) 犯罪の起きにくい社会環境等の整備に関する専門部会構成員
- (2) 福祉のまちづくり推進連絡協議会構成員

- (3) 北海道介護保険審査会委員
- (4) 北海道後期高齢者医療審査会委員
- (5) 北海道社会福祉協議会
 - 1) 北海道福祉サービス運営適正化委員会委員選考委員会委員
- (6) 北海道共同募金会理事
- (7) 北海道交通安全推進委員会理事
- (8) 北海道地域活動振興協会
 - 1) 評議員
 - 2) 北海道ボランティア基金管理運営委員会委員
- (9) 北海道後期高齢者医療広域連合運営協議会委員
- (10) 北海道地域医療介護総合確保基金検討協議会委員
- (11) 北方領土返還署名運動協力
- (12) 北海道消費者被害防止ネットワーク構成員
- (13) 知事杯争奪全道カラオケ大会の後援（主催／北海道高齢者カラオケ連盟）
- (14) 交通安全啓蒙運動の後援・協賛
- (15) 北海道住宅管理公社理事

15. 全国老人クラブ連合会関係

(1) 第48回全国老人クラブ大会

期 日 令和元年11月26日(火)・27日(水)

会 場 埼玉県彩の国さいたま芸術劇場、大宮ソニックシティ

参加者 約2,400人(道内老連参加者3人、うち本連合会からの参加者2人)

内 容

【活動交流部会】

11月26日(火)

第1部会 高齢者の健康づくり・介護予防活動の推進

第2部会 高齢者の支え合い活動の推進

第3部会 演じる活動<舞台発表>

【講演・式典】

11月27日(水)

① 講演 「武蔵一宮氷川神社の歴史」

武蔵一宮氷川神社権宮司 東角井 真臣

② アトラクション 「新聞紙による彩の国伝統絵巻」

③ 活動ビデオ紹介「全国100万会員増強運動に取り組んで」

大阪府 交野市星友クラブ連合会

④ 式典(全国老人クラブ会長表彰他)

(2) 全老連会長表彰(道老連関係分)

1) 全老連会長表彰受章者

- ① 育成功労表彰
 - 加藤 哲夫 (北海道老人クラブ連合会前評議員)
 - 佐藤 房夫 (北海道老人クラブ連合会元評議員)
 - 村下 文夫 (北海道老人クラブ連合会元評議員)
- ② 優良老人クラブ連合会表彰
 - 網走市老人クラブ連合会 (会長 磯江 良三)
 - 江差町老人クラブ連合会 (会長 小笠原 求)
 - 芽室町老人クラブ連合会 (会長 矢野 征男)
- ③ 永年勤続表彰
 - 橋堀 哲也 (稚内市老人クラブ連合会事務局長)
 - 菊田 啓美 (中川町老人クラブ連合会事務局長)
 - 近藤 香苗 (石狩地区老人クラブ連合会幹事)
 - 志賀ふさ美 (北海道老人クラブ連合会主査)
- ④ 100万人会員増強運動表彰
 - 富士こぶし会 (千歳市富士 会長 村上 松夫)
 - 潮見老人クラブ (網走市潮見 会長 黒田 幸市)

2) 令和元年度全国老人クラブ連合会「活動賞」

- ① 健康づくり活動部門
 - 岩見沢市老人クラブ連合会 (会長 山本 博光)
- ② ボランティア活動部門
 - 千歳市老人クラブ連合会 (会長 村上 松夫)
 - 釧路町老人クラブ連合会 (会長 下越田 等)

3) 全老連100万人会員増強運動特別賞

- 礼文町老人クラブ連合会 (会長 柳谷 恵美子)
- 利尻町老人クラブ連合会 (会長 川原 理)

(3) 各種会議、研修会

1) 全老連理事会

期 日 令和元年5月31日(金)
場 所 全社協 第3～第5会議室
出席者 寺山会長 (全老連理事)
内 容

- ① 平成30年度事業報告について
 - ② 平成30年度収支決算について
 - ③ 令和元年度定時評議員会招集について
- ### 2) 令和元年度評議員会
- 新型コロナウイルス感染防止のため書面審議となった。

期 日 令和2年3月11日(水) ※当初開催予定日

内 容

- 令和2年度事業計画・収支予算(案)について

3) 都道府県・指定都市老連代表者

期 日 令和2年1月29日(水)・30日(木)

場 所 全社協 灘尾ホール

出席者 鈴木会長、亀石副会長、坂井事務局長

内 容

【1月29日】

- ① 行政説明1「地域包括ケアをめぐる最近の動向について」
厚生労働省老健局 振興課長 尾崎 守正
- ② 基調説明1「老人クラブ『100万人会員増強運動』の総括について」
全国老人クラブ連合会 常務理事 齊藤 秀樹
- ③ 基調説明2「分担金の見直し・令和2年度全老連事業等について」
全国老人クラブ連合会 事務局長 正立 斉
- ④ 活動報告
 - ア「100万会員増強運動の取り組みについて」
札幌市老人クラブ連合会 会長 花田 吉治
 - イ「友愛訪問活動の取り組みについて」
徳島県老人クラブ連合会副会長 三宅 武夫
 - ウ 女性委員会報告
全国老人クラブ連合会女性委員会委員長 川端 幸枝

【1月30日】

- ① 講演「社会参加は健康長寿の秘訣」
千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門
教授 近藤 克則
- ② 全体会
 - ア 老人クラブ「100万人会員増強運動」の総括について
 - イ 分担金の見直し・令和2年度全老連事業について 他

4) 都道府県・指定都市老連事務局長会議

期 日 令和元年7月31日(水)

場 所 全社協 第3～5会議室

出席者 坂井事務局長

内 容

- ① 厚生労働省説明「高齢者関連施策と老人クラブに期待すること」
厚生労働省老健局振興課 課長補佐 川島 英紀

- ② 基調説明 「老人クラブ『100万人会員増強運動』の総括と今後に向けた取り組みについて」
「分担金および事業等の見直しについて」
「老人クラブ保険の制度改正等について」 他
全国老人クラブ連合会常務理事 斎藤 秀樹
事務局長 正立 斉
- ③ 全体会 基調説明に対する意見交換
ア 老人クラブ『100万人会員増強運動』の総括と今後に向けた取り組みについて」
イ 分担金および事業等の見直しについて
ウ 老人クラブ保険の制度改正等について

5) 都道府県・指定都市老連活動推進担当者研究セミナー

期 日 令和元年8月27日(火)
場 所 全社協 第3～5会議室
出席者 小野寺主査(活動推進員)
内 容

- ① 基調説明1 「令和元年度事業の取り組みについて」
全国老人クラブ連合会 事務局長 正立 斉
- ② 基調説明2 「老人クラブ保険について」他
全国老人クラブ連合会 事務局
- ③ 活動報告
ア 横浜市老人クラブ連合会主任主事 牧 素子
イ 東京都老人クラブ連合会主事 河井みどり
ウ 千葉県老人クラブ連合会主査 吉武 衝弥
エ 大阪府老人クラブ連合会活動推進員 山田 典子
- ④ 分散会・全体会

16. 北海道・東北ブロック老人クラブ連合会関係

(1) 平成31年度北海道・東北ブロック老人クラブ連合会長・事務局長会議

期 日 平成31年4月11日(木)・12日(金)
会 場 秋田県秋田市 「ホテルメトロポリタン秋田」
出席者 寺山会長、坂井事務局長
内 容

- ① 基調説明 全国老人クラブ連合会 常務理事 齊藤 秀樹
② 各老連からの提出議題
③ 連絡・報告

(2) 平成31年度北海道・東北ブロック老人クラブ連合会活動推進員・事務担当者会議
他業務と日程重複のため欠席とした。

17. 老人クラブ傷害保険

老人クラブの会員だけが加入できる傷害保険は、一般損害保険会社よりも傷害（ケガ）に有利な保険であり、「団体契約の傷害保険」のため、比較的安価で、年齢制限もなく加入できる傷害保険であることを老人クラブ会員に周知を図り加入促進に努めた。また、全員型「損害賠償保険」の普及、加入促進に努めた。

しかし、残念ながら加入促進につなげることはできなく、引き続き課題として残っている。

18. 物資斡旋、頒布状況

(1) 物品頒布

1) 2020年版老人クラブ手帳	622	冊
2) 2020年度版「老人クラブ活動日誌」	136	冊
3) 2020年度版「老人クラブ会計簿」	127	冊
4) 社会奉仕の日の旗	4	枚
5) いきいきクラブ体操CD	24	枚
6) いきいきクラブ体操DVD	24	枚

(2) 斡旋手数料

1) みんなで歌う愛唱歌集ほか	5,200	円
2) 青汁「スーパー元気100」(H31.3~R2.2)	59,632	円
3) 生ニン球(H31.3~R2.2)	5,880	円
4) 日本ハムレトルトカレー	25,485	円